

山直中学校だより

平成31年3月11日
岸和田市立山直中学校
岸和田市三田町1030
電話 445-5892
FAX 445-5869

▼防災について考える日です▼

今から95年前、1923年(大正12年)9月1日。190万人が被災、10万5千人余が死亡あるいは行方不明になったという甚大な被害をもたらした関東大震災がおきました。その教訓を忘れず、教訓を生かし防災に対する意識を高めることと、二百十日(立春の日から数えて二百十日目、だいたい9月1日ごろ)とって昔からこの時期が台風シーズンと重なるため、自然災害への備えをするために1960年に【9月1日】が防災の日と制定されました。

私も、祖母から関東大震災の様子は子どもの頃によく聞かされていましたが、50年も昔のことなので「ふ～ん」という感じで聞いていました。



(関東大震災での被災の様子)

しかし、1995年1月17日5時46分に発生した阪神淡路大震災で地震の被害を目の当たりにし、祖母が語ってくれた地震の恐ろしさが実感としてよみがえってきました。さらに、2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災では、地震に加えて津波の恐ろしさも目の当たりにしました。自然の力の大きさの前では人間はいかに小さな存在だということを実感しました。防災についての認識も変わりました。

今までの地震を想定した避難訓練では、校舎から避難してグラウンドに集合すれば完了していましたが、海から近いところでは津波を想定して、高

い所(校舎の3階、屋上)へ、さらなる避難場所を求め逃げる訓練も必要になってくると思います。ここ、岸和田市は過去大きな地震もなく大きな台風もほとんど来ない温暖で、とても暮らしやすい地域です。しかし、災害はいつ起こるかもしれません。日ごろからいろいろな訓練が各地で行われています。

私たちが常日頃から、自然災害に気をつけ、防災グッズを備えるとか、家族とどのように連絡を取り合うか、どこに避難するかなど話し合うこともとても大切なことだと思います。

亡くなられた多くの方々のご冥福と哀悼の意を込め、3月11日14時46分に山直中学校では全校一斉に黙祷をおこないました。

◎11日は公立の一般選抜の日です

3年生は、公立の一般選抜の日です。朝早くから、お弁当を作ってください。ご家庭の人たちの思いも受け止め、答案用紙としっかり向き合ってください。頑張れ！応援しています。4月からの新しい出会いのためにも、『全員合格』を祈っています。

※そして、13日は卒業証書授与式です※

三年間の締めくくりをどういう形にするのか。進路が決定した人たちもまだまだ頑張っている仲間のことを思い緊張感のある学校生活にしてください。良い伝統は必ず受け継がれていきます。ありがとうございました。

三年間の思い出がいっぱいつまった山直中学校ともお別れの時がやってきました。

新しい生活が始まる4月。

新しい出会いの前に少し悲しい「別れ」を経験する3月。

卒業式！胸を張って卒業証書を受け取りにきてください。

「おめでとう」そして「ありがとう」

